

案件化調査

マレーシア国 パームオイル工場の排水処理高度化・循環利用 案件化調査

企業・サイト概要

- 提案企業：阪神動力機械株式会社
- 提案企業所在地：大阪府 大阪市
- サイト・C/P機関：サイト：セランゴール、ジョホールバル他／CP：マレーシア・パームオイル委員会(MPOB)

マレーシアの開発課題

- パームオイル産業の主要産業化に伴うパームオイル工場からの排水による環境影響の懸念、排出基準の不順守企業への警告・ライセンス停止
- パームオイル工場排水への排水基準の強化意向(BOD値20mg/L)がある一方、安定的な処理技術の不足
- 排水処理の高度化に対するパームオイル工場のインセンティブの欠如

中小企業の技術・製品

- 実績のある処理設備群の組み合わせ、現行の開放型ラグーン処理への追加による基準順守貢献
 - 日本の下水道処理(活性汚泥法)において実績のあるエアレータ(曝気攪拌設備)による安定的な基準順守
 - エアレータ処理を安定的に行うためのスクリーン設備や遠心分離機による前工程での固液分離
 - 分離された固体分(汚泥)の燃料化・堆肥化設備による資源販売の可能性(動機付け)

調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

- 「民間提案型普及・実証事業」のスキームを活用し、今回提案する排水処理高度化・循環利用システムをモデル工場に適用する
- MPOB主導、工場側の協力合意の下、技術面での検証(実証)と、“ショーケース”としての活用(普及)を図る
- 収益も生む技術の普及、排水のBOD値低減、結果として河川への影響の低減を目指す

日本の中小企業のビジネス展開

- 政府機関であるMPOBとの協働によるパームオイル企業・工場への効果的な技術紹介
- 技術の現地化(具体ニーズへの対応、現地での最終組み立て等によるコストダウン)の実現

